



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 21

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 21. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1954, 21: 5-12

ISSUE DATE:

1954-06-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186858>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会  
水族館 月 報

No. 21

1954. 5月 (6月3日)

録 事

水温む春の行楽シーズンは観光客の激増が例年ならば期待されるのであるが、本年は緊縮政策の影響が、その往來もそう頻繁ではなかった。本月は昨年の同期に比べると入場者数が千人余り減ったが、先月はほぼ同数位増えたので、1年中で最も入場者の多い両月の總入場者数は昨年とほとんど変わらないことになる。

振興會発足以来、1年9か月を経た今日では、水族館の経営も一応軌道に乗った観があるが、各地に水族館發出の傾向を見るに及んでは安閑としてはおれない。と同時に大学附設の水族館が、これらの水族館に対し、指導的な立場にあることに鑑み、いよいよその責務の重要さを痛感せずにはおられない。

年度がかわるに従って、定例の才3回季集會が別記の通り5月16日開催された。対外的に色々と問題の多かった昨年度の重要な案件も、この季集會で承認落着して、本年度は、時因年集に代つて内海委員が一般会務を仰せつかることになった。

会務引継ぎと共に、會報發行の任務も新当番季集の手に移ったわけであるが、大体前方針を踏襲することになりはしない。従來の各月の経理報告における款項目の名称も慣行法式に則つて、いずれ改められる筈であり、又記事内容も、今までのものとは多少変つた形となるであらう。しかし、不慣れな点と故、会務の円満遂行のために、より一層の御指導と御鞭撻を乞う次第である。

~~~~~

## 1954年度年費會記錄

時日: 昭和29年5月16日 10—18時

場所: 京大瀬戸臨海実験所特研會議室

出席者: 宮地会長, 南委員, 高田委員, 内海委員,  
時岡委員, 山路委員, 広庭会計次長(本田監事代理),  
岩城監事, 水野監事,  
以上 9名 (峰尾委員欠席)

### 記

#### 1. 監査結果

- イ. 各月の収支残額は翌月收入に繰越さず、各月の収支合計、月末現在高と共に累計を記しておくこと。
- ロ. 水族館建物借用料は積立金の項目に入れず、借入損料として、一般経費の中に含めること。
- ハ. 常勤者(左海)の給料は一般経費の人件費より、超勤手当、同費より実験所費への移算とに分けること。  
常勤者(森)の超勤手当も一般経費の人件費より支出し、同全額を実験所費より一般経費に移算のこと。
- ニ. コンクリート舗装の如き工事も大学当局に届出で許可を求めること。

#### 2. 博物館の公開

- イ. 従来通り無料公開を続ける。
- ロ. 本年度は同管理を水族館より分離し、時岡委員が担任する。
- ハ. 芝脇既入代を5月15日付を以て正式に採用し、博物館に勤務せしめる。

#### 3. 1954年度予算

- イ. 予算に対しては、見積過小との非難があったが、之を最低維持経費として承認。
- ロ. 一般経費中に研究費の項目を新設する。
- ハ. 実験所改善費を実験所費と改称する。
- ニ. 特別予備金を積立金と改称する。
- ホ. 収入が最低維持経費を上まわる場合には、事業費として、本年度は研究費に20万円、実験所費に30万円、水族館改善費に30万円の追加支出が許される。但し、水族館改善費に限り、物価高騰などの予想される場合には、積立金より

20万円まで一時流用の上、工事を進めることが出来る。

ヘ 年度内余剰金は、すべて積立金に繰入れ。

#### 4. 積立金（特別予備金）

イ 積立金は、全収入の6分の1に之に当てる。

ロ 1954年度以後の積立金は将来の改善を目標とする基金とする。但し緊急を要する場合には、委員会の承認を経て、一時流用することが許される。

ハ 1953年度特別予備金400,000円は災害時予備金に編入する。災害時予備金の総額が100万円に達した後は、同予備金としての積立は中止する。

ニ 積立金の保管は、確實な信託にあずけることが望ましい。

#### 5. 対明光バス関係

共通観覧券に関する現行の取決書を承認し、来年度まで有効期限を更新して再契約する。（別紙1）

#### 6. 対番所山植物園関係

イ 水族館構内における観光客の通行に関する昭和28年4月10日付覚書に若干の修正を施して、新しい覚書を作成し、交付する。（別紙2）

ロ 共通観覧券の取扱いに関する昭和28年10月16日付暫定試行取決書に若干の修正を施して、新しい取決書を作成し、とりかわす。（別紙3）

#### 7. 番所山植物園よりの要求に対する解答

イ 水族館陳列室出口より植物園玄関に通ずるコンクリート舗装路の拡張は不許可。

ロ 植物園玄関直前の浸水個所の盛上舗装は許可。

ハ 番所山専用の排水路は番所山区域内に構築するを原則とする。実験所構内における構築は現地での指示による。

#### 8. 本年度水族館改善事業案

博物館前広場低地の砂利盛り、水槽の遮光装置、升戸端の改善美化、竜帝用起重機の設置、水族館道舗装の延長等は可能な範囲で実施する。

#### 9. 従業員の待遇改善

イ 昭和29年5月16日現在の給与を承認。但し今年8月31日付定期昇給の際に、国家公務員の予級表にあてはまるように手取額を増加する。但し本俸は実験所雇傭人に準じて之を定め、

本俸と手取額との差額は現業手当として支給する。

- ロ、退職預金は手取額を基準として定め、1年につき約10ヵ月分の割合で積立てるものとする。

#### 10 当季季費の交代

時岡季費に代って本年度は内海季費が全務を担当する、5月17日16時引継を完了。

#### 11 町当局、観光協会に対する希望に対する町側の解答

- イ、「水族館は観光施設ではない」との時岡季費の表現は大方の誤解を招く虞ありとの岩城巡事の発言に対して、時岡季費より同表現に対する陳謝並びにも誤解の向あらは「当方の真意の伝達をさう旨の言があった。

- ロ、実験所一帯を騒音禁止区域とすることは関係縣令がないため難しい由。

#### 12 水族館従業員希望に対する意見

水族館の公開時限を厳守して欲しいとの希望に対して、「町の観光客出入の実情に鑑み、寛容を祈願する」との意見が南季費、岩城巡事よりなされた。

以上

本議事録は、会長の指示により、議案の説明にあつた前任の時岡季費が執筆したものであつて、岩城巡事の承認を経て印刷に付した事を念のため付記する。

### 業 務 概 況

#### ◎ 5月の入場者数

| 区 分   | 水族館 発売数 |        | 観光バス 発売数 |        | 合 計    |        |
|-------|---------|--------|----------|--------|--------|--------|
|       | 本月分計    | 累 計    | 本月分計     | 累 計    | 本月分計   | 累 計    |
| 大人    | 1,912   | 15,749 | 15,595   | 33,912 | 22,507 | 49,111 |
| 小人    | 349     | 1,303  | 141      | 504    | 490    | 1,707  |
| 団 体   | 2,769   | 16,169 | —        | —      | 2,769  | 16,669 |
| 計     | 15,230  | 33,721 | 15,736   | 34,416 | 30,966 | 49,137 |
| 無料入場者 |         |        |          |        | 52     | 213    |

② 5月の収入

(累計)

|         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| 観覧券売上金  | 14,100  | 1,271,217 |
| 雑収入     | 100     | 3,022     |
| 4月5月の繰越 | 94,458  |           |
| 計       | 668,658 |           |

③ 5月の支出

一般経費

| 費目別   | 金額      | 累計      | 備考           |
|-------|---------|---------|--------------|
| 人件費   | 17,404  | 123,254 |              |
| 光熱費   | 12,724  | 12,824  |              |
| 消耗品費  | 2,727   | 4,527   |              |
| 備品費   | 8,530   | 9,530   |              |
| 修理費   | 1,000   | 18,613  |              |
| 資料費   | 15,950  | 29,220  | 魚反以創料代       |
| 学生費   | 1,680   | 2,960   |              |
| 借入材料費 | —       | —       | 水族館建物賃料      |
| 諸税公課  | 78      | 1,251   | 印税 火災保険料等    |
| 租 賃   | 720     | 2,165   |              |
| 通信運搬費 | 1,474   | 2,954   |              |
| 研究費   | 1,100   | 6,000   | 布設公研補助金4.5月分 |
| 旅 費   | —       | —       |              |
| 合 計   | 118,379 | 213,896 |              |

水族館改善費.....支出皆無

実験所費

| 費目別   | 金額      | 累計      | 備考 |
|-------|---------|---------|----|
| 印刷費   | 100,000 | 350,000 |    |
| 備品費   | —       | 146,000 |    |
| 設備修理費 | —       | 450     |    |
| 合 計   | 100,000 | 496,450 |    |

博物館費

| 費目別  | 金額    | 累計     | 備考 |
|------|-------|--------|----|
| 人件費  | 4,150 | 7,810  |    |
| 消耗品費 | 170   | 170    |    |
| 修理費  | 370   | 370    |    |
| 備品費  | 3,165 | 3,165  |    |
| 合 計  | 7,855 | 11,515 |    |

積立金

| 費目別      | 金額    | 引出高 | 現在高    | 備考 |
|----------|-------|-----|--------|----|
| バス・アツツ基金 | 9,100 | —   | 96,400 |    |
| 賞与基金     | 9,100 | —   | 53,234 |    |

|        |         |        |              |                    |
|--------|---------|--------|--------------|--------------------|
| 厚生基金   | 1,500   |        | 5,352        | 借入料精立残高24,850.26   |
| 災害時予備金 | 80      |        | 129,346.50   | 借金返済金3,000.        |
| 会議費積立金 |         | 19,135 | 20,265       | 災害時予備金24,400       |
| 積立基金   | 95,683  |        | 211,863      | 5月16日半費金費用         |
| 合計     | 115,463 | 19,135 | 1,017,060.55 | 5,500.7災害時<br>準備金入 |

## 支出合計

(累計)

|        |         |           |
|--------|---------|-----------|
| 一般経費   | 118,579 | 213,798   |
| 水族館改善費 | —       | —         |
| 実験所費   | 100,000 | 496,450   |
| 博物館費   | 7,855   | 11,515    |
| 積立金    | 115,463 | 304,205   |
| 計      | 341,697 | 1,026,068 |

5月末現在高 326,961

支出累計 1,026,068

## ② 前年度との比較

|      | 1953    | 1954    | 増減       |
|------|---------|---------|----------|
| 入場者数 | 32,636  | 30,916  | -1,720   |
| 売上金  | 601,924 | 574,100 | -27,824  |
| 支出金  | 455,097 | 341,697 | -113,400 |

## 水族館記事

① No. 24 の大水槽に5月2日原因不明の事故が発生。大形のサメ類、ハメ類を残して多数の魚類が全滅した。

② しかし、その後になつて、4日 入手の4匹に余る巨大なアカエイ、16日入手の700cm大のアオブリタイ、及び19日入手の少々傷を負っているが、貫首の長さ1.70mに及ぶハモイ（このあたりでは“ホンサンの帯”と呼ばれ慣わす）2尾や、多数のサカサメ等の大型魚が相次いでその水槽に補充され、いずれも賑々しく遊泳し、観覧客を喜ばせている。

③ No. 13 の水槽に収容中の瀬戸内海産マダコ（この匹は腕が吸盤の皮が吸着のため、或は清掃のための脱皮されるのか、その部分の古い表皮が水中に澤山たがよい、水を汚している。マコはまたカニや貝を好んで食うと云われているが、この水槽では死んだイワシを餌料として与えても、好んで食べているようである。

④ 13日 マカアシガニ1匹死亡。残る2匹はまだ元氣である。

- ⑤ 5月27日実験：北浜の曳網にかかったとして、交棒中の ジヤノメ アメフラシ の巨大な2匹が持ちこまれた。いずれも体長が40cmに及び異常に大型で水族館の見ものとなつたが、惜しくもその中の1匹は30日に死んだ。博物館にはアマノサアメフラシのこれと同じ位の異常肥大型が標本となつてあり、これと並んで陳列するために、液浸標本として保存することにした。
- ⑥ 長い間可愛がられていた小さい方の ジマイ が仲間内の亀に頭をかまれて、5月30日に死亡したので、死体は先約により、香所山植物園に寄贈した。
- ⑦ 博物館前広場の池にスイレンの植付を終った。
- ⑧ 標本陳列室にあるナカスクジラの陰茎の先端を小刀で削った悪戯者があり、また便所の中にも始めて落書きのあるのを認めた。
- ⑨ 従来の水族館日誌の不備を改め、これから各水槽の現況を確実に掴めるような形式の水槽録をきつてつくることにした。
- ⑩ 水族館の施設内容の改善の資とするために、観覧客の声を随時摘録することにした。
- ⑪ なお、5月23日以後、日曜日には内海、時間、山路の3季真が交代して、水族館の運営にあたり、同時に気象観測も行なうことになった事を付け加えておく。

## 博物館記事

- ⑫ 5月18日化石と貝類の陳列棚の錠が2か所破壊されているのを発見、標本を点検したところ、ヒカイが1個紛失していた。どうも前記水族館の被害と共に中学生団体の仕業らしい。

## 資 料

- ⑬ 5月の気象

|           | 上 旬       | 中 旬       | 下 旬       |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 晴天日数(1/5) | 6         | 4         | 5         |
| 気 温 (℃)   | 16.0—21.5 | 17.0—21.3 | 18.0—21.8 |
| 湿         | 17.4      | 19.6      | 20.1      |
| 水 温 (℃)   | 17.5—19.5 | 17.0—19.7 | 19.7—20.6 |
| 湿         | 18.5      | 17.9      | 20.0      |

但し } 気温は南水槽室 7/10 時に測定  
 { 水温は No. 24 水槽



今月より比重をも測定することにしたので、来月よりこの欄に記録される予定。

◎ 水族館飼養動物数

水族館管理の任務の交代を機会に本水族館に現在飼養されている動物の総種類と個件数を調べて見た。(1954年5月28日現在)

|                   | 種類数 | 個件数      |
|-------------------|-----|----------|
| 海綿動物              | 1   | 1        |
| 腔腸動物(サンゴイソギンチャク等) | 13  | 122      |
| 甲殻類(エビ、カニ等)       | 22  | 215      |
| 棘皮動物(ウニ、ヒトデ、ナマコ等) | 12  | 96       |
| 軟体動物(貝、ウミウシ、メコ等)  | 20  | 73       |
| 原索動物(ホヤ)          | 1   | 1        |
| 魚類                | 53  | 243      |
| 海亀類               | 3   | 11(仔16)  |
| 計                 | 125 | 762(仔16) |

以上の数値は1954年8月に調査した結果とくらべてみると、少し少ないが、日により、又、時期により多少の差異を生ずるのは当然である。

昭和29年6月3日発行 (No. 21)

編集兼  
発行人

内海 富士夫

発行所

瀬戸臨海実験所振興会  
和歌山縣白浜町  
瀬戸臨海実験所内  
電話・白浜温泉 515